

独立行政法人日本スポーツ振興センター 中期計画 新旧対照表

・変更部分は下線。

中 期 計 画 (変 更 後)	中 期 計 画 (変 更 前)
<p><序文> (略)</p>	<p><序文> (略)</p>
<p><基本方針> (略)</p>	<p><基本方針> (略)</p>
<p>I 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置 (略)</p>	<p>I 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置 (略)</p>
<p>II 業務運営の効率化に関する目標を達成するためとるべき措置 (略)</p>	<p>II 業務運営の効率化に関する目標を達成するためとるべき措置 (略)</p>
<p>III 予算(人件費の見積りを含む。)、収支計画及び資金計画 (略)</p>	<p>III 予算(人件費の見積りを含む。)、収支計画及び資金計画 (略)</p>
<p>IV 短期借入金の限度額 (略)</p>	<p>IV 短期借入金の限度額 (略)</p>
<p>V 不要財産又は不要財産となることが見込まれる財産の処分に関する計画 (略)</p>	<p>V 不要財産又は不要財産となることが見込まれる財産の処分に関する計画 (略)</p>
<p>VI 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画 (略)</p>	<p>VI 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画 (略)</p>
<p>VII 剰余金の使途 (略)</p>	<p>VII 剰余金の使途 (略)</p>

VIII その他文部科学省令で定める業務運営に関する事項

1 施設及び設備に関する計画

別表－16のとおり

施設整備・管理の実施に当たっては、業務実施上の必要性及び施設の老朽化が進行していることにかんがみ、長期的視野に立った整備計画を策定し、計画的に国立霞ヶ丘競技場（陸上競技場）等の施設整備を推進する。

また、利用者本位の立場から施設整備を進めることとし、特に障がい者等の利便性の向上を図るよう努める。

さらに、施設の管理運営に当たっては、維持保全を確実に実施することにより、利用者の安全の確保に万全を期する。

2019年ラグビーワールドカップ日本開催及び2020年オリンピック・パラリンピック東京開催等を踏まえた国立霞ヶ丘競技場（陸上競技場）の改築については、

- ・改築その他関連する経費について、引き続き精査を行い、基本設計作業を通じて、真にやむを得ない場合を除き現在の見積金額総額を超えないこと
- ・周辺整備に加え、競技場本体についても東京都によるオリンピック・パラリンピック招致に伴いコスト増加が見込まれることを勘案した上で、その資金負担についての国、東京都及び関係者間の合意
- ・可動屋根の設置について、これに伴う費用の増加について精査した上で当該費用増加を可動屋根設置による収益増加により賄うことについての第三者による専門的客観的評価を踏まえた文部科学省が行う検証（可動屋根設置に係るコスト、防音性能等、音楽イベント等の開催頻度及び収益性等を含む。）による設置の可否の判断を踏まえ、そのための実施設計費を執行するものとする。

2 人事に関する計画 （略）

3 積立金の使途 （略）

VIII その他文部科学省令で定める業務運営に関する事項

1 施設及び設備に関する計画

別表－16のとおり

施設整備・管理の実施に当たっては、業務実施上の必要性及び施設の老朽化が進行していることにかんがみ、長期的視野に立った整備計画を策定し、計画的に国立霞ヶ丘競技場（陸上競技場）等の施設整備を推進する。

また、利用者本位の立場から施設整備を進めることとし、特に障がい者等の利便性の向上を図るよう努める。

さらに、施設の管理運営に当たっては、維持保全を確実に実施することにより、利用者の安全の確保に万全を期する。

国立霞ヶ丘競技場（陸上競技場）の改築については、2019年ラグビーワールドカップ日本開催及び2020年オリンピック・パラリンピック東京招致、デザイン案についてのコスト縮減等の精査の結果、多様な財源の確保のあり方及び資金負担についての国、東京都及び関係者間の合意並びに東京都の都市計画の規制緩和措置等を踏まえ、そのための基本設計費を執行するものとする。

2 人事に関する計画 （略）

3 積立金の使途 （略）

【別表－１】～【別表－１５】
(略)

【別表－１６】

長期的視野に立った施設整備・管理の実施

施設整備の内容	予定額 (百万円)	財 源
国立競技場、国立スポーツ科学センター等の改修及びナショナルトレーニングセンター用地購入費	3,519	施設整備費補助金

[注記]

金額は見込みである。
なお、上記のほか、業務の実施状況、施設・設備の老朽化度合い等を勘案した改修（更新）等が追加されることがあり得る。

国立霞ヶ丘競技場の改築その他関連経費に係る現在の見積金額総額は、197,108 百万円（内訳：本体 145,476 百万円、周辺 23,711 百万円、その他経費 27,921 百万円）であり、上記に含まれていない。

【別紙】（略）

【別表－１】～【別表－１５】
(略)

【別表－１６】

長期的視野に立った施設整備・管理の実施

施設整備の内容	予定額 (百万円)	財 源
国立競技場、国立スポーツ科学センター等の改修及びナショナルトレーニングセンター用地購入費	3,519	施設整備費補助金

[注記]

金額は見込みである。
なお、上記のほか、業務の実施状況、施設・設備の老朽化度合い等を勘案した改修（更新）等が追加されることがあり得る。

（新設）

【別紙】（略）